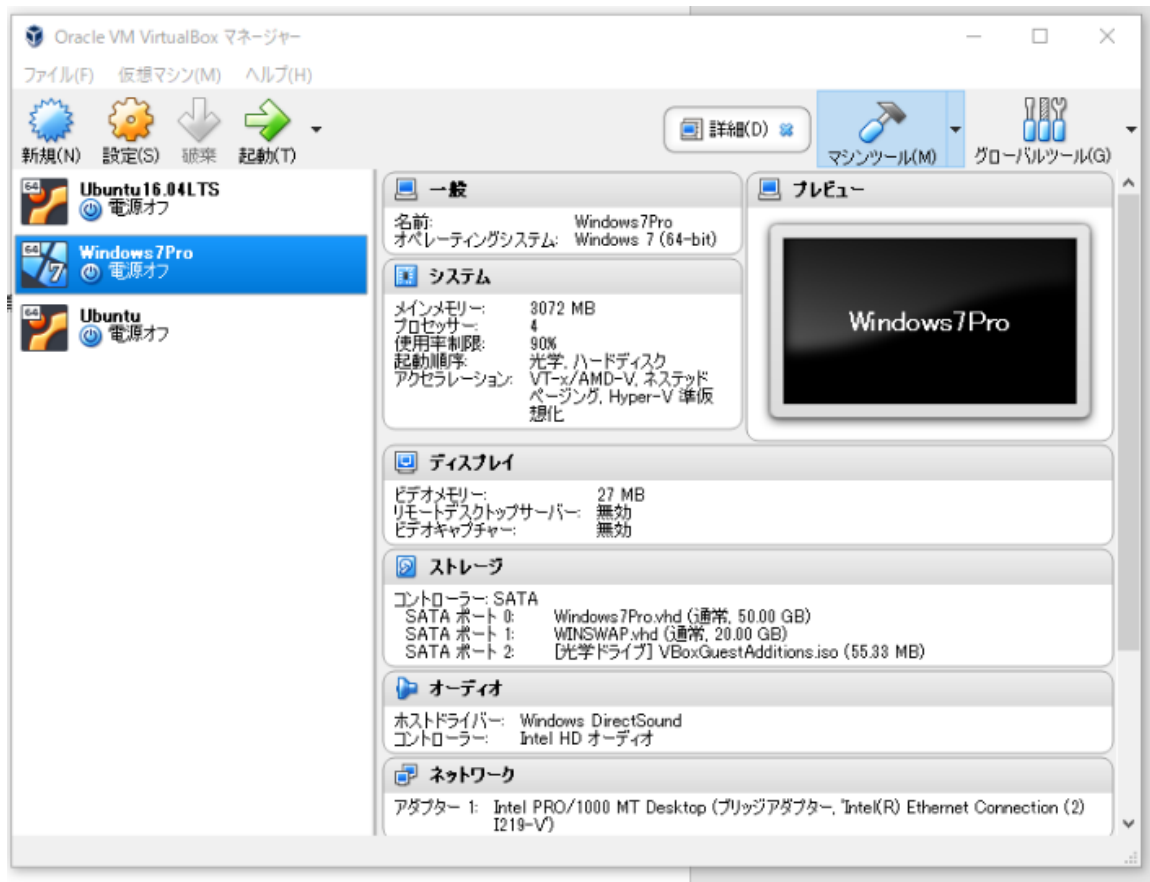


コンパイル実行環境

OS : Windows7 Professional (Oracle VM Virtual Box 上)

VBox は Windows10 Pro

いずれも 64bit 版



手順概要

- MSYS2 をインストールし、更新。64bit 版を導入。
Hamayama 氏のインストール手順メモに従って行った。
URL><https://gist.github.com/Hamayama/eb4b4824ada3ac71beee0c9bb5fa546d>
- 同氏の SDL2 導入メモを参考にインストール。
自分は各 SDL ファイルの URL をコピーし、MSYS の端末上でフォルダ作成後、ディレクトリ移動し `wget (URL)` でダウンロードしたが他は同様。
URL><https://gist.github.com/Hamayama/155b5557db31334ce492>
- 各種開発ツールを導入
Qiita 記事記載のパッケージを、`pacman` を使い導入。
複数再インストールとなるが全て YES とする（デフォルトのまま導入）。- ホームディレクトリ（`~`）にて `git clone` を行い、ソースコードをダウンロード。- `config.default` ファイルを作成（`config.template` を別名コピー）した後の編集で、

```
BACKEND=sdl2
OSTYPE=mingw
SDL2_CONFIG=sdl2-config
FLAGS=-DUSE_C
```

のコメントアウトを削除する。網掛けが SDL2 の特徴か。
Makefile は、Qiita 記事と書式が代わっているが、`ifeq($(OSTYPE),mingw)`の

```
LDFLAGS += ...
```

（2つあるうちの後半）にある「`-Wl,--large-address-aware`」を削除するのみ。
記事内にも書かれているが、`windres` は編集しない。
- コンパイルを実施。
Qiita 記事 URL><https://qiita.com/Aruneko/items/373ed7d135b6f686dbd9>